

臨床福祉専門学校
柔道整復学科 平成27年度 第二回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成28年3月17日（木）17：00～18：00

場所：臨床福祉専門学校 202 教室

出席委員及び所属

豊島 公（東京都柔道整復師会 北多摩支部参与）
中島 泰二（株式会社プロックス ディサービスパーク施設長）
岡部 洋興（鶴川接骨院院長・非常勤講師）
藤巻 有久（銀座リハビリテーションクリニック・非常勤講師）
中島 嘉和（柔道整復学科 学科長）
荒井 一彦（柔道整復学科 副学科長）
萬崎 保志（事務部長）
樋口 豊朗（事務局 教務課）

1. 第一回会議時の委員からの意見に関する学科の報告

①基礎医学中心の「基礎力養成講座」を1年次だけでなく、2年次でも行う必要がある。

→（学科からの解答）

上級学年は既存のカリキュラムがあるので、授業に組み込むというのは難しい。
授業外の補習で分担作業として春先から行う。

②国家試験対策として、主に基礎医学の科目に関しては1年次より過去問を取り入れていく形にしたらどうか？

→（学科からの解答）

過去問の導入に関して、学校独自のオリジナル問題・業者模試を行う。

1年次については「応用講座」の科目で小テスト形式で実施する。

③「応用講座Ⅱ」の未来職場見学について、学習意欲喚起の為に、1年次の早期に行う方が良いのでは？

→（学科からの解答）

朝から晩まで専任教員の枠で行うしかない実情がある。非常勤講師の科目の絡みもあり、早期の実施は困難である。調整のつきやすい、年度末に実施する予定

④保護者にも職業理解を求め、学生の就業状況を把握してもらう方が良いのでは

→（学科からの解答）

4月5日（火）新入生と合同で保護者説明会を実施する。

まずはその場で、職業の理解・医療人としての心得・カリキュラム・規則について周知する。

(意見交換)

【中島（嘉）】 昨年度「未来職場見学」において、機能訓練を行うディサービスを見学した。例えば病院の見学とかは可能か？

【藤巻】 病院の見学よりも関係部署の機能訓練を見る方が参考になる。
実際に地震の勤務する医療機関ではディサービスが2か所ある。

【豊島】 職業の理解という視点で、卒業生の就職先の実態は？

【荒井】 接骨院勤務（開業・就職）が7割・ディサービスが2割程度

【豊島】 柔道整復師＝接骨院勤務というイメージは時代とともに変わっていく
ディサービスの受け皿が広がりつつある現状から、未来職場見学は
接骨院だけでなく、病院・ディサービスなど幅広く行う方が良い。

【中島（泰）】 接骨院でも時間を区切って機能訓練を行う場合もある。
見学時に両方視る事ができて好都合ではないか

【荒井】 機能訓練指導員になりたいという意志を持った学生もいる。
しかし、本校のカリキュラムでは介護に特化した科目がないので
機能訓練の中身とマッチした教科書を使用するか検討したい。

【藤巻】 今後の柔道整復師に求められている事として地域の連携があり、
その為には「救護活動」について知識を深める必要がある。

【岡部】 知識向上に合わせて、学生のコミュニケーション能力が乏しい。
色々な現場を見学して、プロがどのような話し方をしているのか
実際に動きを見る事も必要。

【岡部】 見学実習の前に、目的を明確化する為の導入が必要。それがなければ
ただ見学するだけで、職業の理解につなげるのは難しい。

【藤巻】 見学実習後も、レポートを書いてもらって発表する場を設けるのはどうか？
学生同士の知識の共有もできるので、成果が期待できる。

【藤巻】 基礎力養成について、特に学力が乏しい学生は、何度試験をやっても意味が
ない。そういった学生を救済する為に、年間を3年の国試対策だけでなく補習

を徹底してもらいたい。それが国家試験の合格率の底上げにつながる。
学生の生活もわかるが、学校として放課後・夕方にやる体制を築く事が不可欠。

【荒井】補習体制を学科内で明確化する為の検討の時間が欲しい。

2. 平成28年度、外部企業との連携について

【中島】平成27年度同様藤巻委員には外部企業（アルケア）と折衝頂き、
最新固定材料を用いた固定技術の実演をお願いしたい。

→藤巻委員了承、教材費は学校負担とする。

まとめ

- ・「未来職場見学」について、受け入れ先を精査し、可能なら早期の実施を検討。
目的（職業の理解）を明確化し、導入部分を設け、実施後には報告会を行う。
それをもって成績評価の基準の一つとする。
- ・柔道整復師として必要とされる内容への打ち手の検討
「救護」「コミュニケーション能力育成」
- ・成績不良者への学生サポートの実施
年間を通して、午後・夕方の時間に、補習を行う。